

コミュニケーションロボット「Kebbi(ケビー)」を用いた プログラミング教育の授業実践②【大府市立共長小学校】

「ICT教育モデル校活動通信 Vol.7」で、コミュニケーションロボット「Kebbi Air」(以下「Kebbi」)を用いたプログラミング教育の授業実践に向けた大府市の取組の様子を伝えましたが、この度、授業実践が行われたので共長小学校の様子を報告する。

5年生(2時間完了)

- (1) Kebbiを接続、動作確認
- (2) プログラミング実験室のミッションカードのプログラムを作成
 - ・ 宇宙旅行士の生活を体験する。
- (3) オリジナル課題のプログラムを作成
 - ・ Kebbiをプログラムどおりに動かし、ゴールを目指す。

〈授業を参観して〉

- ・ スクラッチを利用したプログラミング経験があり、スムーズにプログラムの作成ができた。
- ・ 1人1台の端末を使いながら、積極的に話し合い、教え合う様子が見られた。
- ・ グループ学習では、協力して取り組むことができ、仲間と課題を解決したときの楽しさを味わっていた。



【一斉に設定を行いKebbiを接続】



【1人1台端末を使って教え合い】



【対話をしながらプログラムの作成】



【協力してゴールを目指せ】

